

ながさきで物語をつくろう塾



イラスト 林田 志帆



塾長 重野 裕美

■ 塾長コメント ■

平成 24 年度から、2 年間「ながさきで物語をつくろう塾（以下、物語塾）」は活動してきました。

昨年度は、塾のスタート時には想像もできなかったユニークで読みごたえのある物語ができました。そして、今年度はその物語の中の「中島川のおそびんぼ太郎」（以下、「おそびんぼ太郎」）の戯曲化と絵本化が実現しました。

戯曲化された「おそびんぼ太郎」は、平成 25 年 11 月 16 日に長崎市立図書館で子どもたちに披露されました。来場の親子に大好評でした。これは、パネルシアターに詳しい砥山さんのアドバイスをいただきながら、4 名の戯曲班が力を合わせて作り上げました。砥山さんをはじめ「おはなしたいむ」のみなさまのご協力なしではパネルシアターは成功できませんでした。ここに深く感謝いたします。

絵本班は今年新しく入ったメンバーが 3 人、2 年目のメンバーが 1 人というなか、中身の濃い話し合いが進められ見事、絵本が誕生しました。

塾生の人数が少ない分、それぞれが活躍して充実した活動となりました。塾生はそれぞれ仕事などがある中、積極的に参加していただきました。ありがとうございました。

人が集まり、話し合い、苦しみつつも笑いありの物語塾の 2 年間は、まさしくひとつの物語を見るようでした。

これからも、この物語たちはいろいろな表現で、みなさんへ手渡されていくことでしょう。

■ 塾の目的 ■

長崎にはあちらこちらに多くの貴重な歴史的事実が隠されています。それらを発見し、掘り起こし、今の時代に生かす、その大事なエッセンスを大人達が共有し、未来をにう子どもたちにバトンタッチすることは大切なことのように思われます。

物語塾では、一年目では長崎の過去と現在と未来を一望にとらえ、塾生が発見し、掘り起こした長崎の歴史をもとにオリジナルの物語を作ること、そして、2 年目ではその物語を子どもたちに楽しんでもらえるよう劇や絵本という形にすること、この 2 つを目的としました。



■ 塾の研究・活動内容 ■

昨年度は、長崎をテーマに子どもが読んで楽しめる物語を作りました。今年度は、さらにもう一步踏み込んで、子どもが興味をもって物語に触れるにはどうしたらいいかと考え、物語を絵本と劇のための戯曲という形にすることにしました。

戯曲化したものはパネルシアター(パネル上で紙の人形たちを動かす、動く紙芝居のような表現活動)という劇にして上演しました。

塾生は、それぞれの表現にあう言葉選びや実際にパネルシアターの紙人形制作、絵本制作とそれぞれのテーマから派生する多岐にわたる活動を熱心に取り組みました。

子どもを対象としていましたが、パネルシアターでは大人も熱心に見ていました。絵本でも、大人が子どもの心をよみがえらせて、楽しんで読んでもらえることを期待したいと思います。

■ 塾活動の成果 ■

本年度は昨年作った「あそびんぼ太郎」をベースに戯曲と絵本を作りました。

どちらも広く子どもたちに楽しんでもらおうという気持ちで、文字だけの文章から、子どもたちが楽しめる表現方法ということで制作しました。

戯曲は、パネルシアターという形で子どもたちの前で上演できました。パネルシアターの中で、繰り広げられる妖怪たちの世界に子どもたちは入りこんでいました。子どもたちに、長崎の文化がゆかいな妖怪と遊びを通して心や記憶に残ってくればうれしいです。この上演は「おはなしたいむ」のみなさまのご協力があったからこそ実現できました。

このように、他のグループの方たちと協同でできたということもとても意義のあることでした。

絵本は、子どもたちが自分で読むこともあれば、読んでもらう場合もあります。今年度は、「声」に出して読んで心地いいものということも塾生たちは大事にしていました。

塾生みなで読み合いながら、子どもの心に戻って作り上げたあたたかい絵本ができ上がりました。長い時間をかけて作り上げ、最後の最後に絵本という形があらわれます。夢のような絵がついた絵本が完成したときの塾生の喜びはひとしおでした。

目的をみなで共有しながら、子どもたちに楽しんでもらいたいという思いで活動した時間は、ふりかえれば私たちみなに心にあたたかな気持ちを育ててくれた時間でもありました。

塾生たちは、ハードな仕事をされている方や時間の捻出が難しい方ばかりでした。そういった厳しい状況の中で、うまれた作品たちは塾生たちのように光り輝いています。

子どもと子どもの心を持った大人たちに私たちのメッセージが伝わることを塾生一同心から願っています。

ながさきで物語をつくろう塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 25 年		
5 月 9 日(木)	メルカつきまち 5 階ホール	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議
6 月 3 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い 年間計画
7 月 1 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い イベント企画、絵本製作
8 月 5 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い イベント企画 絵本製作
9 月 2 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い イベント企画 絵本製作
9 月 30 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い イベント企画 絵本製作
11 月 4 日(祝・月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い イベント企画 絵本製作
11 月 16 日(土)	長崎市立図書館	イベント パネルシアター
12 月 2 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い 絵本制作 成果物
平成 26 年		
1 月 6 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い 絵本制作 成果物
3 月 3 日(月)	ツナグバサンカク	ものがたり塾の話し合い 絵本制作 成果物
3 月 21 日(祝・金)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 調査内容パネルの展示、クイズなどを実施

パネルシアター制作

2年目になる塾では、昨年度物語塾が作った物語「あそびんぼ太郎」を2班でそれぞれ戯曲と絵本にしました。

戯曲班は、パネルシアター発表に向けての台本と、パネルシアター制作を頑張りました。

制作に関しては、子ども向けのパネルシアター上演経験が豊富な「おはなしたいむ」の方々にアドバイスをいただきながら、取り組みました。パネルシアターという言葉自体を初めて聞く塾生がほとんどで、その材料や制作方法など見るのも触るのも初めてのものばかりでした。しかし、子どもたちに楽しんでもらおうと、みなで楽しく作り上げていきました。

手分けして広報もがんばり、11月16日(土)に長崎市立図書館でパネルシアターを上演しました。私たちの不安をよそに、多くの親子連れが見に来てくれました。「おはなしたいむ」のみなさんが、休日返上で練習を行い、見事な出来映えでした。参加者の感想には、「ふだんは落ち着きのない子どもが、とても集中して見ていた」「とてもおもしろかった」「また、みたい」などとあり好評を得ました。長崎新聞にも記事が掲載されました。塾生も大満足の仕上がりとなりました。



上演風景は、DVDに録画しました。

絵本製作

絵本班は、物語「あそびんぼ太郎」を絵本化しました。絵本にするために子どもが耳から聞いても心地よい、絵本にふさわしい言葉を選び、原作をアレンジしていきました。塾生たちは繰り返し声に出して読みあい、みなで意見を出し合いながら制作していきました。

「あそびんぼ太郎」のイラストを担当した林田志帆さんが夢のある挿絵を描きあげました。今回は、絵本という形にできあがる喜びを塾生みなで共有できました。

これから、この絵本は子どもたちや子どもの心をもった大人たちに読みつがれていくことでしょう。



塾生の感想

素晴らしい絵本やパネルシアターができました！この一年間参加させてもらって、そして、素晴らしい人々と関わるきっかけを作ってくれた塾長に感謝！！(荒木 智佳子)

最初、物語創作とっており、絵本作りと知り、拍子抜けしましたが、メンバーの方や伝習所のスタッフの方々や輪を広げて活動して様々な方の郷土愛や情熱が折に触れて伝わって元気づけられました。(伊藤 豊美)

昨年仕上げた物語を戯曲の形に再編し、おはなしたいむの方にパネルシアターで上演していただきました。一つの物語が、様々な人の手を介して表情を変えていきます。表現することの面白さを感じています。

(大串 眞貴子)

今年度はものがたりの創作はせず、前年度作った3つの作品のうち1つに的を絞って広めるため「絵本班」と「戯曲班」に分かれて活動をした。私は「戯曲班」に所属して、パネルシアターの作成や発表会を行ったが、仕事の都合上、ほとんど同じ班のリーダーに何から何まで頼りきりになってしまった。1年という時間がとても短いことを実感し、この塾で作った作品が、絵本やパネルシアターなど、いろんな形になって、長崎で語り継がれることを祈るばかりである。

(大串 美咲)

自分のやりたいことが実現できる塾だった。個人的には満足だが、私も含めて仕事を持つ人の参加は難しい。(小川内 清孝)

塾生の入れ替わりなど不安要因もありましたが、パネルシアターなどいい塾活動ができたと思います。(平 浩介)

前年度の成果の一つ、「中島川のあそびんぼ太郎」のパネルシアターと絵本の作成ができたこと、良き進展でした。(新名 規明)

皆で作った物語が、新たな形を得ました。子ども達に親しんでもらえると嬉しいです。(林田 志帆)

長崎に由来する物語をベースに絵本の地の文にするために長崎弁の話し言葉に作り上げる過程が楽しかったです。(原澤 明子)

ながさきで物語をつくろう塾

塾長	重野 裕美				
1	荒木 智佳子	21		41	
2	伊藤 豊美	22		42	
3	大串 眞貴子	23		43	
4	大串 美咲	24		44	
5	小川内 清孝	25		45	
6	平 浩介	26		46	
7	新名 規明	27		47	
8	林田 志帆	28		48	
9	原澤 明子	29		49	
10		30		50	
11		31		51	
12		32		52	
13		33		53	
14		34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		事務局員	文化振興課 廣田 由貴

